要請番号（JL00623A15）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インドネシア	G112 陸上競技	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2023/4・2024/1・2024/2 ・2024/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

青年スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

北スマトラ州青年スポーツ局

3）任地（ 北スマトラ州メダン市 ） JICA事務所の所在地（ 中央ジャカルタ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機+車 で 約 3.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

青年スポーツ省は青少年のスポーツ活動及び教育に関する政策を策定・実施する機関であり、スポーツ活動全般の振興に加え、ジュニア層の選手育成及び学校体育教育などの教育的側面からも支援・サービスを行う公的機関である。活動先となる北スマトラ州体育学校(PPLP)は、全国に13校ある体育学校の一つで、サッカー、柔道、陸上、アーチェリー、テコンドー、ボクシングなど11種目の指定競技があり、州内から選抜されたエリート選手が集まっている。2009年から2011年まで体育職種の協力隊員が活動していた。

【要請概要】

1）要請理由・背景

活動先の体育学校では、北スマトラ州内から選抜された選手達が日々練習に取り組んでいる。過去の全国大会では、長距離と短距離の種目で金メダルを獲得した実績もあり、選手やコーチの意欲も高い。しかしながら、選手の年齢や種目の特性に応じた適切なトレーニング方法や各種目で必要とされるスキル、テクニックに関するコーチ陣の知識が古く、効果的な指導に結びつかないことが課題となっている。配属先では、陸上競技の各種目に取り組んでいるが、特に短距離やハードル、投てきへのアドバイスが求められている。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 選手に対し、陸上競技の練習指導を行う。
※選手の練習時間は平日の早朝と夕方
2. 日本で行っているトレーニング方法、スキルなどをコーチへ共有し、指導方法向上に協力する。
3. コーチと共に練習プログラムを考案する。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

陸上競技場、跳躍場、砲丸、ハードル、やり

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚：
ヘッドコーチ1名(50代、指導経験20年)
アシスタントコーチ3名、ウェイトトレーニングコーチ1名

活動対象者：
男子選手19名、女子選手6名(14-17歳)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
インドネシア語	インドネシア語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（専門学校卒）　備考：配属先の要望

[経験]：（競技経験）5年以上　備考：選手への指導に必要なため

[参考情報]：

・陸上に関連したコーチ資格があると望ましい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）　気温：（25～35℃位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

インドネシア側の査証手続きの都合により、他国の同隊次より赴任時期が1～2ヶ月遅れることがあります。自衛隊勤務経験者及び海外における軍歴保持者には査証が発行されないため、本案件には応募いただくことができません。 同配属先からはサッカー、柔道、空手道隊員の派遣も要請されています。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.